



魚の放流体験（県水産課連携事業）



学習のねらい	
<p>○湖魚を知り、放流体験をすることで、びわ湖の在来魚に興味・関心をもつことができる。</p> <p>○在来魚の生息状況の変遷を知り、個体数減少の原因や放流活動の意義について考えることができる。</p> <p>○湖魚の生態を知り、湖魚にとってよい環境の在り方について考えることができる。</p>	
準備物	
うみのこ船内で準備できるもの	乗船校で準備するもの
<ul style="list-style-type: none"> ・学習スライド（県水産課） ・湖魚の稚魚（県水産課） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ニゴロブナのワークシート</u> ・ 稚魚確保の関係で事前申し込みが必要 (寄港地が長浜港であることが条件)
主な学習の流れ	ポイント（○）及び留意点（☆）
はじめ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学習のめあてを確認する。 2. 湖魚が減ってきた原因を予想する。 3. 学習スライドをもとに、湖魚が減ってきた原因を知る。
なか	<ol style="list-style-type: none"> 4. 放流の方法を確認する。 5. 湖魚の稚魚を放流する。 6. 湖魚の放流体験をしてわかったことや、感じたことを交流する。
おわり	<ol style="list-style-type: none"> 7. 本学習のまとめをする。

（※1）活動場所・・・ 学習室兼食堂・長浜湖岸

（※2）実施時期・・・ 6月～7月

※うみのこ船内で準備できるものについては、児童・指導者の人数や班の数に合わせて準備することもできます。